

教材教具および題材	学部	授業名（主たる教科領域）	執筆者
つみきをつもう ～みんなでやってみよう～	中	国語・数学 Iグループ （国語・自立活動）	沼田大樹

<ねらい>

- ・話に興味をもち、見聞きすることができる。
- ・あらすじを理解し、友達や教師と一緒に演じて楽しむことができる。

<内容（作成方法・使用方法・工夫点など）>

- ・紙芝居「つみきをつもう つもう」のストーリーを動作化する。
- ・生徒4人が登場人物の人、サル、リス、クマを演じる。ストーリーの進行に合わせて箱を積んでいく。「つもう」「じょうず」などみんなで台詞を言う場面もある。読み手は教師。

使った教材

- ・紙芝居「つみきをつもう つもう」
- ・登場する積み木と同じ色の画用紙を貼ったダンボール5つ
- ・登場人物のイラストカード（首からさげて使用）



<良かった点・改善点（児童生徒の反応を含め）>

- ・紙芝居、簡単なストーリーということで、生徒が取り組みやすそうだった。
- ・読み聞かせ、あらすじの理解など国語的な要素と、色の見分けなど算数的な要素もある。
- ・ストーリーの最後には、積んだダンボールが崩れるため、楽しめる子も多いが、反対に嫌に思う子もいるかもしれない。

<その他（材料、費用、購入先等）>

- ・画用紙
- ・ダンボール